

政局展開 強い関心

連立協議打診 県内政党反応

福田康夫首相(自民党総裁)が民主党の小沢一郎代表に連立政権協議を提案した党首会談から一夜明けた三日、県内政党関係者も急な政局

「政策協議の場必要」

自民

「今の状態では何もできず、大連立はともかく、政策協定の可能性はあるとみていた」。篠原実自

民党県連幹事長は冷静な受け止め方で、年金や地方活性化など山積する重要政策に対応するため与野党の協議機関を設けるべきだと持論を展開。自

民党と民主党のどちらにプラスかという次元の考え方は国家国民のためにならない」と訴えた。また、参院選から間がなくなり、各党は資金不足で、早期の解散・総選挙はないだろうと述べた。

村上誠一郎党県連会長(衆院愛媛2区)は「財政・教育・外交は危機的状況にあり、立て直すには

展開に強い関心を寄せた。自民党県連幹部らが首相の姿勢に理解を示す一方、民主党関係者は大連立には異議を唱え、他の野党は「密室談合」と非難した。早期の解散・総選挙の可能性については関係者の見方が分かれた。

大連立政権が良いと考えていた。消費税上げなど泥をかぶりやすい問題は選挙が近づくと先送りさ

民主

「選挙で政権交代を」

土居一豊民主党県連代表は「(提案を持ち帰った)小沢代表は問題が問題だけに慎重に考えたのでは」と擁護しつつ、「愛

媛でも自民党と一緒にやれない。党の政策を実現するには政権交代を目指すべきだ」と主張。早期解散もあり得るとして選挙準備を急ぐ構えを見せた。

参院で民主党系会派に所属する友近聡朗氏(愛

れやすいが、ドイツなどのように大連立を組めば、速やかな解決が可能と「なる」とコメント。

塩崎恭久氏(同1区)は、一九九八年のねじれ国会下で与野党の枠を超えた協議により金融再生

媛選挙区、無所属)は、の姿勢を「民主党は選挙連立を拒否した小沢代表による政権交代を掲げて

「有権者への裏切り」

他政党

自民党と連立パートナーの公明党。笹岡博之県本部代表は「連立協議の打診が事前にあったと聞いており、決して公明党がないがしろにされたわけではない。法案が通りにくい状況の中、政局

運営を考えていろいろ模索するのは仕方ない」と話す。ただ「選挙区の調整を考えると大連立は現実的でない。自民党は公明党の協力なしに民主党との厳しい選挙を勝ち抜けない」とくぎを刺した。

一方、村上要社民党県連代表は「参院選では自

法案をまとめたと振り返り「福田総理は『答えを出す政治』を目指した。国会は政策で結果を出さなければ国民に対し責任を取れない」と指摘、民主党を「党利党略に走っている」と批判した。

山本公一氏(同4区)は「国民生活に直結した法案が人質に取られた状態になっており、おかしいと思っていた」と実感を語り、首相が新体制を求めたとした。

「チェック機能が失われる。大政党が競い合う体制をつくらねば日本のためにならない」と否定的な見解を述べた。

公政権を批判して有権者の審判を受けており、密室で大連立を話し合うのは国民の信頼に対する裏切りだ」とぼつきり。小沢代表が即座に拒否せず検討の時間を取ったこと「何か含みがあると思わざるを得ない」と不信感をにじませた。

稲垣豊彦共産党県委員